

訂正をお願いいたします
変更後は、下記の通りです

I.

- 1) C病院 → A病院
- 2) F病院 → B病院
- 3) Dクリニック → Cクリニック
E病院 → D病院

「診断施設」、「治療施設」のコードは参考資料を確認してください → 「診断施設」、「治療施設」のコードは参考資料1を確認してください

II.

- 1) H病院 → E病院
- 2) I病院 → F病院
- 3) J病院 → G病院
- 4) K病院 → H病院
- 5) L病院 → I病院

V.

- 1) M病院 → J病院
- 2) N病院 → K病院

V.「進展度・術後病理学的」のそれぞれに該当するコード番号を記入してください
「側性」のコードは参考資料3を確認してください

下記に訂正 ↓

III.「進展度・術後病理学的」のそれぞれに該当するコード番号を記入してください
「進展度・術後病理学的」のコードは参考資料1を確認してください

治療施設コード

1	自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
2	自施設で初回治療を開始
3	他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続
4	他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診
8	その他

側性

1	右
2	左
3	両側
7	側性なし
9	不明

進展度・術後病理学的コード

400	上皮内
410	限局
420	領域リンパ節転移
430	隣接臓器浸潤
440	遠隔転移
660	手術なし・術前治療前
777	該当せず
499	不明

側性のある臓器

局在コード	部位名	局在コード	部位名	局在コード	部位名
C07.9	耳下腺	C40.0	上肢の長骨、肩甲骨及びその関節	C50.0~ C50.9	乳房
C08.0	顎下腺	C40.1	上肢の短骨及びその関節		
C08.1	舌下腺	C40.2	下肢の長骨及びその関節	C56.9	卵巣
C09.0	扁桃窩	C40.3	下肢の短骨	C57.0	卵管
C09.1	扁桃口蓋弓	C41.3	肋骨、胸骨、鎖骨及びその関節	C62.0~ C62.9	精巣
C09.8	扁桃の境界部病巣	C41.4	骨盤骨、仙骨、尾骨及びその関節		
C09.9	扁桃、NOS	C44.1	眼瞼	C63.0	精巣上体
C30.0	鼻腔(鼻、NOS C76.0をく)	C44.2	外耳道	C63.1	精索
C30.1	中耳	C44.3	その他の部位不明の顔面の皮膚	C64.9	腎、NOS
C31.0	上顎洞	C44.5	体幹の皮膚	C65.9	腎盂
C31.2	前頭洞	C44.6	上肢及び肩の皮膚	C66.9	尿管
C34.0	主気管支	C44.7	下肢及び股関節の皮膚	C69.0~ C69.9	眼及び付属器
C34.1~ C34.9	肺	C47.1	上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系		
		C47.2	下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系	C74.0~ C74.9	副腎
C38.4	胸膜、NOS	C49.1	上肢及び肩の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織		
		C49.2	下及び股関節部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織		

I. 「診断施設」、「治療施設」のそれぞれに該当するコード番号を記入してください

「診断施設」、「治療施設」のコードは参考資料1を確認してください

- 1) A病院において、リンパ腫と診断され化学療法が行われた。
転居のため自施設に紹介転院。自施設で経過観察を行っている

診断施設 _____

治療施設 _____

- 2) 人間ドックで、要精査となり、B病院を受診。内視鏡下生検にて胃癌と診断
治療目的で自施設へ紹介。入院後、手術を施行

診断施設 _____

治療施設 _____

- 3) 不正出血を主訴にCクリニックを受診。超音波検査、細胞診検査を行い、子宮頸癌と診断。
自施設を受診し、組織診を行い、子宮頸部扁平上皮癌の診断。本人の希望で、D病院へ紹介

診断施設 _____

治療施設 _____

II. 「側性」のそれぞれに該当するコード番号を記入してください

「側性」のコードは参考資料1, 2を確認してください

エラー1位 E4003

側性と局在コード（側性なし）が矛盾

1) E病院にて、左主気管支(C34.0)小細胞癌と診断された

側性 _____

2) F病院にて、血尿を主訴に来院、左膀胱壁(C67.2)尿路上皮癌と診断された

側性 _____

3) G病院にて、エコー検査・生検施行、右甲状腺(C73.9)乳頭癌と診断された

側性 _____

4) H病院にて、両側の腎臓(C64.9)に発生した腎芽腫(ウィルムス腫瘍)と診断された

側性 _____

5) I病院にて、体幹の皮膚(C44.5)の正中、扁平上皮癌と診断された

側性 _____

Ⅲ. 「進展度・術後病理学的」のそれぞれに該当するコード番号を記入してください

「進展度・術後病理学的」のコードは参考資料1を確認してください

エラー2位 E4020

観血的治療の有無と進展度・術後病理学的(660、777)が矛盾

- 1) 60代女性、J病院で乳癌と診断、手術をした。紹介状には「右乳房部分切除術」を施行。病理診断の進展度は限局と記載されていた。自施設では術後の放射線治療を行うために受診した

進展度・術後病理学的 _____

エラー3位 E4014

治療施設と進展度・術後病理学的が矛盾

- 2) 50代女性、K病院にて、膵臓癌と診断され、化学療法と放射線治療を計画、施行した。半年後、腫瘍の縮小が確認され、切除可能となったため、自施設へ紹介された。外科手術が行われたが病理結果報告書に術後の進展度を明確に示す記載がなかった。

進展度・術後病理学的 _____